

国際農業開発学特論 (2単位)

担当者氏名 岩本純明・板垣啓四郎・高根務・杉原たまえ

◆学習・教育目標

発展途上国の飢餓撲滅、貧困削減、所得向上など諸問題の解決に役立つマクロ経済学、ミクロ経済学、社会学、歴史学、政治学等の諸理論を総合的に講述する。具体的には、開発経済学、農業発展論、農業政策論、農産物貿易論、地域農業開発論、農業経営学、農業普及論、農村社会学、農村開発論、国際農業協力論等を中心とした理論分析、実践的調査分析、問題解決方策の策定について論じる。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

貧困問題	農産物貿易	農業発展	国際協力
農家成長	農業普及	農村構造	市場展開

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	講義ガイダンス	講義内容の説明, テキストの紹介	
2	国際農業開発学とは何か(1)	視点、目的、役割	国際農業開発学は面白く役に立つ
3	" (2)	国際農業開発学の諸理論とその系譜	諸理論の概要とその系譜
4	経済発展と農業開発 (1)	世界の人口・食料問題	人口爆発と食料生産の停滞
5	" (2)	農業を中心とした経済発展	経済発展の理論とモデル
6	" (3)	食料の南北格差と農産物貿易	先進国の飽食と発展途上国の飢餓
7	" (4)	インフラ整備と農業投資	政府による大規模農業投資
8	農村社会と人間開発 (1)	家族と村落の構造	家族・親族、村落共同体
9	" (2)	土地所有制度と小作制度	農地の所有と利用、小作制度
10	" (3)	農業技術の移転と普及	農業普及制度と普及組織
11	" (4)	国際農業協力	技術協力、資金協力、人材協力
12	農家経済と経営成長 (1)	農家の経営と家計	経営部門と家計部門の結合
13	" (2)	農家の食料自給と所得向上	食料の家計仕向けと販売収入
14	" (3)	市場展開と経営発展	農産物市場、労働市場、土地市場
15	" (4)	商業的農業経営の成長	大規模農業経営、プランテーション
	総括、評価	総括	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）： 増田萬孝「国際農業開発論」農林統計協会（1996年）、ほか

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）： 高橋久光ほか編著「熱帯農業と国際協力」筑波書店（2006年）、ほか

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

レポート 65%、議論への参加度 35%

◆その他受講上の注意事項

社会科学系、自然科学系の必修科目である